



**令和4年度**



# **自治振興区 活動促進補助金**



**実績報告書**



自治振興区名	庄原市山内自治振興区
事業名	山内の移り変わりをまとめた写真集を活用した地域づくり
事業費	506,000 円（うち補助金：404,000 円,自主財源 102,000 円）
事業内容	<p>1 山内においても日常生活の様子や農業，教育，乗り物，祭り，地域行事等が時代とともに大きく変容してきた。その変容の様子を写真集にまとめ，解説も入れた冊子を作成し地域の活性化につなげていく。</p> <p>2 この写真集をまとめた冊子をナレーション入りの CD にし，撮影会等を行い地域の一体化・活性化を図る。</p>
効果・変化	<p>1 山内の今昔の写真をまとめた冊子を作成したことにより，祖父母，父母，子どもの三世代で変容の歴史の流れを共有し，郷土愛を深めるとともに地域の活性化の一端につなげられた。</p> <p>2 自治振興区の郷土研究会を中心に冊子を協同しながら作成していく中で一体感と山内の変容の歴史認識が高まり，地域の活性化に繋がった。</p> <p>3 山内の住民に作成した CD の撮影会を実施し，懐かしい昔話をする中で一体化・活性化を図り，将来の地域づくりにつなげる。</p> <p>4 小学校でも撮影会をお願いし，小学生が山内の変容を知り，山内の将来を考えるきっかけにする。</p>
写真	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>「写真で見る やまのうち」の冊子</p>  </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>編集会議の様子</p>  </div> </div>

1 自治振興区名	庄原市比和自治振興区
2 事業名	つなぐ棚田遺産認定「三河内の棚田」活用事業
3 事業費	2, 231, 488円 (うち補助金 1,785,000円, 自主財源 446,488円)
4 事業内容	<p>① 三河内の棚田への案内看板設置</p> <p>② 三河内史跡案内マップ (自然や歴史の説明看板) の設置</p> <p>③ 三つ子山登山道 (車道) 整備</p> <p>④ 三つ子山山頂周辺整備・立木伐採</p>
5 効果・変化	※事業終了後の現在の状況を記入ください。
<p>事業完了後、地域資源を有効活用するための住民向け啓発活動や観光客向けのイベントを行なっている。また、棚田景観の維持やヒゴタイの保全活動自体を観光資源としてとらえ、瀬戸内 (庄原) DMO や民泊協議会と連携して体験活動として活用する取り組みを進めている。</p> <p>① 地域資源の活用行事・住民向け啓発活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 4月16日、三つ子山ハイキング参加者12人、</li> <li>・ 8月14日三つ子山祭り参加者約100人、</li> <li>・ 8月27日、ぼにばな縁日会参加者約150人 (庄原実業高等学校スタッフ及びゲスト・観光客)</li> <li>・ 三つ子山登山道・山頂整備 (夏、秋) 参加者20人</li> </ul> <p>② 9月21日、民泊協議会と連携した棚田活用イベント (西深津小学校交流会) 参加者70人</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 稲刈り体験</li> <li>・ 棚田周辺を歩く三河内探訪</li> </ul> <p>③ 11月3日、三河内秋の体験交流会 (三つ子山歴史探訪、ヒゴタイの種まき) 参加者39人</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 瀬戸内 DMO (古民家ステイ長者屋) との連携事業</li> </ul>	
6 活動写真	
<div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 33%;"> <p>「三つ子山山頂周辺の立木の伐採・整理」と山頂看板</p>  <p>三つ子山山頂周辺立木の伐採後の眺望</p>  <p>立木伐採後の様子</p>  <p>立木伐採後の様子</p>  <p>山頂看板 (三つ子山城みどり園)</p>  <p>山頂看板 (眺望写真)</p> </div> <div style="width: 33%;"> <p>道案内看板と史跡説明看板</p>  <p>吾妻路付近に設置した道案内看板一画面1</p>  <p>樺田第九町付近に設置した道案内看板一画面1</p>  <p>防地峠入り口に設置した道案内看板一画面2</p>  <p>三つ子山登山入口に設置した案内看板一画面3</p>  <p>三つ子山登山口駐車場に設置した案内看板一画面4</p>  <p>三河内史跡説明看板 (三つ子山と秋穴城丘の見える位置へ設置した案内MAP)</p> </div> <div style="width: 33%;"> <p>三つ子山登山道 (車道) 整備工事</p>       </div> </div> <div style="width: 33%; margin-top: 10px;">  <p>ヒゴタイの花見に来て</p> <p>旧三河内保育所 ひごたいの家 体験会場・観光案内</p> <p>旧三河内小学校グラウンド ここが駐車場 体育館は左側にあります</p> </div> <div style="width: 33%; margin-top: 10px;">   </div>	

1 自治振興区名	庄原自治振興区
2 事業名	「花と緑があふれるまちづくり事業」
3 事業費	1,674,750円（うち補助金1,241,000円, 自主財源 433,750円）
4 事業内容	令和3年度及び令和4年度の継続事業

本区では、自治振興区が母体となり地域内の9団体及び個人で構成する「庄原花のまち応援隊」結成して、まちなかの中心的な街路に四季に応じた花の植栽を行ったプランターを個人宅・商店事業所の軒先に300基設置し、「花でにぎわうまち」をコンセプトに「地域の賑わいづくりの創出」と「地域の活性化」につなげるため、令和3年度から継続して活動を行っています。

1年を通して「花でにぎわうまち」とするため、5月・10月の2回の植栽を行い、設置させていただいている個人宅・商店事業所の皆さん及び構成団体において植栽後の水やり・追肥・切り戻し等の維持管理作業を1年を通して行っています。

この取り組みに於いて、地域内の小学校・中学校・高校・特別支援学校・大学の児童生徒学生が地域との関わりを実践できる場とするため年2回、植栽活動を行っています。

そして、本事業の目的達成と継続的な事業を実施するために地域内にある商店・事業所・個人から物心両面の支援をいただいています。

本年度の自治振興区活動促進補助金の具体的な取り組みとしては、300プランターのプランターカバー（300基）の作成を事業費の関係から令和3年度と令和4年度に各150基を作成し、街路に設置しました。

#### 5 効果・変化

①本区が主体となり、地域内の9団体が参画した「庄原花のまち応援隊」の活動が地域の皆さんに理解をされ定着してきた。

②地域内の児童生徒学生の植栽活動が年間の学習活動として理解され定着してきた。

③植栽後の維持管理を、設置している個人・商店・会社のみなさんが積極的に行っていただき、「花でにぎわうまち」の理解が得られてきた。

④多くのみなさんが関わりで、設置しているプランターが華やかさをましていく中、内外から来られるみなさんから、少しずつ声援をいただくようになってきた。

#### 6 活動写真



植栽後のプランター設置（プランターカバー）



小学校での植栽活動

1 自治振興区名	帝釈自治振興区
2 事業名	帝釈峡遺跡めぐり事業
3 事業費	1,909,672円（うち補助金1,527,000円,自主財源382,672円）
4 事業内容	令和3年度及び令和4年度の継続事業
5 効果・変化	<p>帝釈峡遺跡群発掘60周年を記念し、この遺跡群の認識・関心が薄れつつある中でこの地域の財産・帝釈峡の文化として、後世に継続するためにモニュメントを設置した。</p> <p>遺跡群に関する文字をモニュメントに刻むことにより、地域住民・観光客に、重要な遺跡の存在を発信でき、さらには、モニュメントの存在が帝釈峡遺跡群のイメージを作りランドマークともなる。</p> <p>※事業終了後の現在の状況を記入ください。</p> <p>帝釈峡遺跡めぐり事業の実施により、ツアー事業者等に帝釈峡観光コース新たな遺跡めぐりを設けてもらい、帝釈峡の新たな魅力発信になっている。</p> <p>また、帝釈峡遺跡群の認識が高まり、児童が歴史学習の場として時悠館を訪れる機会も多くなった。</p> <p>さらには、帝釈峡観光において、遺跡を中心とした観光スポットや楽しみ方を発掘する動きも出ており、観光の価値観にも変化がみられるようになった。</p>
6 活動写真	

